

福島第二原子力発電所 原子炉格納容器内の目視点検結果

●点検期間

4号機：平成23年8月29日 ～ 平成23年12月21日
1号機：平成23年12月27日 ～ 平成24年2月28日

4号機、1号機とも、格納容器及び格納容器内の設備の外観目視点検が一通り完了しました。

その結果、原子炉冷却材の漏えいがなかったこと、また、格納容器内の各設備・機器・配管等に大きな変形・損傷等はなく、冷温停止機能に影響を及ぼすものはなかったことを確認しました。

なお、冷温停止に至るまでの高温・高湿環境の影響等により、機器表面の塗装面のはがれや錆等が見られたものの、いずれも冷温停止機能に影響を与えるものではありませんでした。

(4号機 平成23年12月21日、1号機 平成24年2月28日 お知らせ済み)

●4号機 原子炉格納容器内の目視点検結果 写真

(1) 主な目視点検設備



主蒸気隔離弁 (平成24年2月2日撮影)



原子炉再循環ポンプ (A) (平成24年2月2日撮影)



ペDESTアル部 (平成24年2月8日撮影)



ペDESTアル部 (核計装) (平成24年2月8日撮影)

(2) 確認された不具合箇所



①壁面塗装の浮き上がり
(平成23年11月21日撮影)



②亜鉛メッキの剥離 (グレーチング)
(平成23年9月6日撮影)



③支持構造物キャップ溶接部の割れ
(平成23年10月4日撮影)



④水たまり (ダイヤフラムフロア)
(平成23年8月29日撮影)

● 1号機 原子炉格納容器内の目視点検結果 写真

(1) 主な目視点検設備



所員用エアロック (平成23年12月27日撮影)



主蒸気隔離弁 (平成24年2月22日撮影)



ドライウェル冷却系移送用ファン
(平成24年2月8日撮影)



ドライウェル冷却系送風機
(平成24年2月8日撮影)

(2) 確認された不具合箇所



①壁面塗装の浮き上がり、剥離
(平成24年2月20日撮影)



②モルタルの剥離
(平成24年1月16日撮影)



③亜鉛メッキの剥離 (グレーチング)
(平成24年1月6日撮影)



④機器表面の錆び及びシートガスケット外れ
(格納容器真空破壊弁)
(平成24年2月15日撮影)



⑤弁駆動部からのグリス漏れ
(平成24年2月20日撮影)



⑥弁開度計の亚克力変形
(平成24年2月20日撮影)



⑦保温材のはがれ (平成24年2月7日撮影)



⑧電気品端子箱への浸水
(平成24年2月15日撮影)



⑨水たまり (ダイヤフラムフロア)
(平成23年12月27日撮影)